OIE及びOIEコードについて

平成23年12月 農林水産省 消費·安全局

資料4

お話しすること

- OIEとは
- OIEコードの概要
- OIEコードとWTO・SPS協定の関係
- OIEコードの制定・改廃手続き



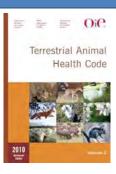
OIE(World Organization for Animal Health:国際獣疫事務局)

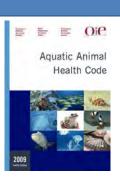
- 1924年設立
- 178カ国・地域が加盟(2011年12月現在)
- 主な活動
 - 動物疾病に関する情報の提供
 - 技術協力の実施
 - OIEコードの策定 など

資料4

OIEコードとは

- 動物及び動物製品について、OIE加盟国が 貿易その他の措置をとる際の参照事項
- 陸生動物コードと水生動物コードの2種類





陸生動物コード (第1巻:一般規定)

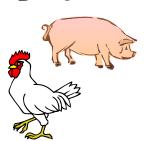
- 第1部(動物疾病の診断、サーベイランス及 び通報)
- 第2部(リスク分析)
- 第3部(獣医サービスの質)
- 第4部(一般推奨事項:疾病予防及び管理)
- 第5部(貿易措置、輸出入手続き、獣医証明)
- 第6部(獣医公衆衛生)
- 第7部(アニマルウェルフェア)

資料4

陸生動物コード(第2巻:個別疾病)

- 第8部(複数の動物種に感染する疾病)
- 第9部(ミツバチ科の疾病)
- 第10部(鳥類の疾病)
- 第11部(ウシ科の疾病)
- 第12部(ウマ科の疾病)
- 第13部(ウサギ目の疾病)
- 第14部(めん山羊の疾病)
- 第15部(イノシシ科の疾病)





OIEコードとWTO・SPS協定 ①

WTO・SPS協定によれば、

- 加盟国がSPS措置(動物の健康を守るための措置)を講じる場合、国際基準(OIE コード)を基礎としなければならない。
- OIEコードより厳しい措置を講ずる場合、 リスク評価によってその正当性を証明しなければならない。

